



第25回参議院議員選挙
組織内候補
もりやたかし



西鉄組合新聞

[発行所]福岡市中央区大手門1丁目4番16号 西日本鉄道労働組合
[編集発行者]川瀬直之
定価1部30円 送料共
(この新聞は会員費の中から購読料を徴収しています)
西鉄労組ホームページ(<http://nnr-u.org>)▶

沖縄の過去と現在から平和の尊さを学ぶ

9月1日(土)～3日(月)、沖縄県にて、連合福岡ヤングカーニバルin沖縄2018が開催され、連合福岡加盟産別から約100名の青年女性組合員が参加。沖縄戦跡や米軍基地を見学し、平和の尊さを学ぶとともに、産別や単組の垣根を超えて交流と親睦を深めた。西鉄労組青年女性協議会からは、山崎さん(片江)、信國さん(筑乗)、田端さん(都市開発)、神宮(筑紫乗務)の4名が参加した。

初日は福岡空港で出発式がおこなわれ、連合青青年委員会の渡邊委員長(JAM)より挨拶があつた。那覇空港到着後は、「ひめゆりの塔」に向かい、歴史を語り部の方による沖縄戦の体験談を開き、学芸員の方から説明を受けた。その後、「平和の礎」と「糸数壇」を見学し、ガイドの方や連合沖縄では実際には入ることができなかった。最後に、宿泊先のホテルで夕食交流会・班別学習会をおこない、1日目は終了となった。

2日目は、辺野古、「チビチリガマ」、「嘉数高台公園」、「海軍司令部跡」を見学し、ガイドの方や連合沖縄で実際には入ることができない。最後に、宿泊先のホテルで夕食交流会・班別学習会をおこない、1日目は終了となつた。

学生時代、戦争について学ぶ機会は

お詫びと訂正

大会特集号(No.1676)一面の議論団紹介の左から松尾氏、横田氏、溝辺氏であるのは、お詫びして訂正致します。



正しい教育の大切さを学ぶ
ヤングカーニバルin沖縄に参加して



【青女協事務局長 神宮竜弥】

最終日は、解散式をおこない、首里城公園に向かった後、岐路に着いた。2泊3日と短期間だったが、平和について学習するとともに、他産別との交流もできて、大変実りのある3日間となつた。

青年委員の皆さんに案内していただきををおこない、各班で夕食交流をおこなつた。



戦跡に実際に足を運ぶ、
戦争を語り継ぐ
まっすぐ地域を見つめます



東区
佐々木とおる



「ひと」にやさしい市政へ
ドミニツ英樹

Facebook
更新中!!
QRコードから
ご覧下さい。



イイね を押して応援しよう!

分会 トピックス



筑紫乗務分会は、9月5日(水)、筑紫乗務所で「スタッフミーティング」を開催し、100名以上の職場組合員に焼肉と一緒に振りを振る舞った。例年は、夏真盛りの7月中旬に4日間に分けて開催するが、今年は残暑を乗り切ることを目的に、この時期に開催。準備が整った食事は、牛肉17キロ、豚肉2キロ、ウインナー3キローおにぎりも200個。10時過ぎから開始し、14時30分には完食となった。



百道浜分会
百道浜分会
シーホークで「家族会」



土井分会
「家族会」で下関へ
古賀隆介

「スタッフミーティング」を開催

百道浜分会 シーホークで「家族会」

「家族会」で下関へ 古賀隆介



山口講師

柳川乗務分会
烟山沙織
柳川乗務分会
烟山沙織

「家族会」で下関へ
古賀隆介

家族会は、9月8日(土)、西鉄労働会館にて、「2018年家族会学習会」を開催し、組合員のご家族など約50名が出席。今回は、「子どものありのままを受け止め」と題して、「親の会ぼうとケーキ代表の山口由美子氏から子どもとの接し方などについて講演を受けた。山口氏は、2000年の西鉄高速バスジャック事件で重傷を負った被害者。しかし、事件後は少年犯罪に対する安易な厳罰化に反対し、加害少年の家庭環境など事件の背景を考えるべきであると訴え続けている。また、親と子が

学び育ち合う場所を開設するなどして、子育てに悩む親をサポートする活動もおこなっている。

講演では、子どもに寄り添い、ありのままの気持ちを受け止めることが重要だ。そして、子どもの気持ちをどのように引き出していくのかについて、穏やかな口調で分かりやすく説明。参加者からは、「子育てを考え直すきっかけになった。主人にも聞いてほしく」といった声があがつた。

重要なのは、子どもを信じて認め、一緒に成長していくことです。

家族会学習会 バスジャック事件を通じて子育てを考える

【開催日】9月8日(土)
【場所】西鉄労働会館

とちぎ義博「浜風のつどい」

働く人たちの声を福岡市政に!

組織内議員の「とちぎ義博」福岡市議を囲む「とちぎ義博」浜風のつどい」が、9月23日(土)、博多湾クルーズ船「マリエラ」で開催され、西鉄労組から多くの組合員と家族が参加。今期をもって議員活動を終える「とちぎ義博」市議は、「皆様が働きやすい環境、生活しやすい環境づくりのため、最後まで皆様の声を市政に届けていく」と決意を示すとともに、日ごろからの支援に対する感謝を述べた。続いて、後継として立候補予定の「ごんどう英樹」組織内候補も登壇し、「ひとにやさしい福岡市をつくりたい」などと、実現したい政治ビジョンを参加者に訴えた。



決意と感謝を述べる「とちぎ義博」市議

**2018
2019
年度**

中央委員会三役

中央委員会

中央委員会								
自動車部門								
馬男木洋一	桧原 芳郎	柏原 大重 英樹	早良 笹野 裕二	愛宕浜 渡辺 朋宏	新宮 谷所 敏憲	金武 藤川 正稔	雜飼隈 古部 千寸	百道浜 飯塚 秀
自動車事務 馬男木洋一	駕山 芳郎	大重 英樹	早良 笹野 裕二	愛宕浜 渡辺 朋宏	新宮 谷所 敏憲	金武 藤川 正稔	雜飼隈 古部 千寸	百道浜 飯塚 秀

自動車部門									
鉄道部門									
荒井 広貴	那珂川 鞍馬 隆行	早田 裕二	上田 徹	馬奈木 武	古藤 博光	吉塚 岩松 文夫	香椎浜 有森 弘至	電車技術 木下 直紀	ステーションサービス 田中 義則
荒井 広貴	那珂川 鞍馬 隆行	早田 裕二	上田 徹	馬奈木 武	古藤 博光	吉塚 岩松 文夫	香椎浜 有森 弘至	電車技術 木下 直紀	ステーションサービス 田中 義則

鉄道部門									
兼業部門									
野田 正満	西川 智生	岡本 隆宏	福田 顕教	重松 弘幸	甲斐 賢	濱野 圭祐	高鍋 仁	西尾 雄治	国物東日本 佐伯 和久
野田 正満	西川 智生	岡本 隆宏	福田 顕教	重松 弘幸	甲斐 賢	濱野 圭祐	高鍋 仁	西尾 雄治	国物東日本 佐伯 和久

兼業部門									
女性委員会									
山下 義彰	宗 洋和	林 秀虎	橋本 和人	森山 珠美	宇美 増田扶美子	吉永 未希	金納 敦子	高倉 舞	国物西日本 西村 昌子
山下 義彰	宗 洋和	林 秀虎	橋本 和人	森山 珠美	宇美 増田扶美子	吉永 未希	金納 敦子	高倉 舞	国物西日本 西村 昌子

特別中央委員会(出向班長)

特別中央委員会(出向班長)								
自動車部門								
久留米 西田 昇平	福岡高速 古賀 昭俊	二日市 山田嘉一郎	筑豊 満石 真一	宗像 小川 英和	電設 木島 実	テクノサービス 上津原 崇	土木 亀山 則弘	人事サービス 中村 昭次
久留米 西田 昇平	福岡高速 古賀 昭俊	二日市 山田嘉一郎	筑豊 満石 真一	宗像 小川 英和	電設 木島 実	テクノサービス 上津原 崇	土木 亀山 則弘	人事サービス 中村 昭次

鐵道部門								
兼業部門								
西田 昇平	古賀 昭俊	山田嘉一郎	小川 英和	木島 実	上津原 崇	亀山 則弘	中村 昭次	神 崇仁
西田 昇平	古賀 昭俊	山田嘉一郎	小川 英和	木島 実	上津原 崇	亀山 則弘	中村 昭次	神 崇仁

分会三役

分会三役								
自動車部門								
馬男木洋一	桧原 芳郎	柏原 大重 英樹	早良 笹野 裕二	愛宕浜 渡辺 朋宏	新宮 谷所 敏憲	金武 藤川 正稔	雜飼隈 古部 千寸	
馬男木洋一	桧原 芳郎	柏原 大重 英樹	早良 笹野 裕二	愛宕浜 渡辺 朋宏	新宮 谷所 敏憲	金武 藤川 正稔	雜飼隈 古部 千寸	

鐵道部門								
兼業部門								
野田 正満	岡本 隆宏	西川 智生	福田 顕教	甲斐 賢	重松 弘幸	木下 直紀	田中 義則	
野田 正満	岡本 隆宏	西川 智生	福田 顕教	甲斐 賢	重松 弘幸	木下 直紀	田中 義則	

兼業部門								
上部団体三役								
山下 義彰	高鍋 仁	西尾 雄治	国物中央 宗 洋和	日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)	私鉄九州地方連合会(九州地連)			
山下 義彰	高鍋 仁	西尾 雄治	国物中央 宗 洋和	日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)	私鉄九州地方連合会(九州地連)			